
第 3 回 難病シンポジウム

スポンサー募集要項 趣意書

2026 年（令和 8 年） 3 月 7 日（土）

聖路加タワー7階 新日本科学 PPD 大会議室

（東京都中央区明石町 8-1）

主催： 一般財団法人 難病治療開発機構

大会長 岡崎 康司

順天堂大学大学院医学研究科 難治性疾患診断・治療学 主任教授

第 3 回 難病シンポジウム 共催のお願い

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃から一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。

当財団は 2012 年の設立以来、難病の原因解明・治療法開発・社会実装を目指し、国内外における調査研究、普及啓発活動、研究支援、国際学術交流など多岐にわたる事業を展開してまいりました。リウマチ性疾患、運動器疾患、慢性疼痛性疾患を重点領域としつつも、治療法の確立していないすべての疾患を対象に、患者さんのアンメット・メディカル・ニーズに真摯に向き合い、医療従事者、研究者、製薬企業、関連業界、省庁との密な連携を通じて、病態の解明から治療法開発、さらにはその社会実装までを一体的に推進するための基盤づくりに取り組んでおります。

このたび当財団は、2026 年 3 月 7 日（土）に「第 3 回難病シンポジウム」を開催いたします。

本シンポジウムでは、順天堂大学大学院医学研究科 難治性疾患診断・治療学 主任教授であり、難病の診断と治療研究センター センター長を務められている岡崎康司先生を大会長にお迎えし、シンポジウム全体の企画および運営をご指導いただくこととなりました。

第 3 回の開催にあたっては、大会長テーマとして「ミトコンドリア病の最先端医療」、また学術委員テーマとして「骨・関節関連疾患」の二本を柱とし、それぞれの領域における最新の知見と今後の展望について、専門家の皆様と深く議論する場を提供する予定です。

つきましては、本シンポジウムの充実した開催を実現するために、関係各社の皆様よりご支援を賜りたく、ぜひともご協賛のご検討を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。貴社の温かいご理解とご支援を、心よりお願い申し上げます。

末筆ながら、貴社のますますのご発展とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2025 年 7 月吉日

一般財団法人難病治療開発機構

代表理事 高柳 広

(東京大学大学院医学系研究科免疫学 教授)

大会長ご挨拶

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より難病医療の推進にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、一般財団法人 難病治療開発機構では、「第3回難病シンポジウム」を2026年3月7日（土）、聖路加タワーにて開催する運びとなりました。

本シンポジウムでは、「ミトコンドリア病の最先端医療」を大会長テーマとして掲げるとともに、学術委員テーマとして「骨・関節関連疾患」を取り上げ、難治性疾患に関する最新の知見と臨床応用の現状を広く発信いたします。

ミトコンドリア機能異常は、あらゆる臓器障害をもたらすことが知られており、神経・筋疾患、先天代謝異常症、糖尿病、腎疾患、肝疾患、心疾患、眼科・耳鼻科疾患など、多岐にわたる疾患群に関わっています。そのため、本シンポジウムには、診療科や研究領域を越えて、幅広い分野の医師・研究者が領域横断的に参加し、知見を共有することを特徴としています。

また、ミトコンドリアは単なるエネルギー供給装置ではなく、細胞内オルガネラとして、ライソゾームやペルオキシソームなどと機能的に連携しており、ライソゾーム病、パーキンソン病、感染症、さらには老化関連疾患においてもその役割が注目されています。こうした知識の融合と応用は、今後の難病研究における革新的な展開をもたらすと確信しています。

一方、骨・関節関連疾患の分野では、炎症や免疫異常を背景とした病態の理解が進み、バイオ製剤や再生医療を含めた新規治療法の開発が加速しています。今回は両分野の最前線に立つ講師陣をお招きし、基礎から臨床までの知見を交差させる実りある討論を予定しております。

本シンポジウムの円滑な運営と、次世代の研究支援を可能とするため、企業・団体の皆さまからのご協賛（ご寄付、広告掲載、セッション共催等）を心よりお願い申し上げます。ご支援は、難病に立ち向かう医療と科学の進展、そして患者の未来を拓く礎となります。

末筆ながら、貴社のますますのご発展とご繁栄を心より祈念申し上げます。

謹白

2025年7月吉日

一般財団法人 難病治療開発機構
第3回 難病シンポジウム 大会長
岡崎 康司

（順天堂大学大学院医学研究科 難治性疾患診断・治療学 主任教授）

開催概要

1. 主催機関及び大会長（敬称略）

主催：	一般財団法人難病治療開発機構
大会長：	岡崎 康司 順天堂大学大学院医学研究科 難治性疾患診断・治療学 主任教授 難病の診断と治療研究センター センター長
理事長	高柳 広 東京大学大学院医学系研究科免疫学 教授 日本骨免疫学会 理事長、日本骨代謝学会 理事長
専務理事	浅原 弘嗣 東京科学大学大学院 医歯学総合研究科・医学部 システム発生・再生医学分野 教授
常務理事	麦谷 眞里 ジョンズ・ホプキンス大学日本同窓会会長
理事	石原 陽子 聖母病院 医師、山手クリニック 医師 臼井 千恵 順天堂大学附属練馬病院 メンタルクリニック 先任准教授 日本線維筋痛症・慢性痛学会 理事長 大西 孝宏 伊勢赤十字病院 腎臓内科、リウマチ膠原病科 部長 石島 旨章 順天堂大学大学院医学研究科 整形外科・運動器医学 主任教授 富田 哲也 森ノ宮医療大学大学院保健医療学科 教授 永田 良一 株式会社新日本科学 代表取締役会長兼社長 メディボリス国際陽子線治療センター 理事長 藤尾 圭志 東京大学大学院医学系研究科 内科学専攻 アレルギー・リウマチ学 教授 山野 嘉久 聖マリアンナ医科大学内科学 主任教授 難病治療研究センター 部門長
難病シンポジウム学術委員会一同（敬称略）	
今井 統隆	株式会社新日本科学 安全性研究所 サイエントフィックアフェアズ [®] 部長
今澤 俊之	順天堂大学大学院医学研究科 難治性疾患診断・治療学/腎臓内科学 客員教授 胃と腸の板橋仲宿内科 副院長
大久保 ゆかり	東京医科大学 皮膚科学分野 特任教授
岡本 一男	金沢大学 がん進展制御研究所 免疫環境ダイナミクス研究分野 教授
加藤 隆弘	北海道大学 大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室 教授
岸本 暢将	杏林大学腎臓膠原病内科 准教授
小林 里実	聖母病院皮膚科 部長
佐藤 知雄	聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 病因・病態解析部門 准教授
千葉 朋希	東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 医歯学系専攻 先端医療開発学講座 システム発生・再生医学

塚崎 雅之	昭和大学 歯学部口腔生化学講座 教授
土屋 遥香	東京大学大学院医学系研究科内科学専攻アレルギー・リウマチ学
寶来 直人	株式会社新日本科学 安全性研究所
本間康弘	順天堂大学医学部整形外科学講座 准教授
松島 隆英	東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 医歯学系専攻 先端医療開発学講座 システム発生・再生医学 助教
美野 名波	東京大学大学院医学系研究科内科学専攻アレルギー・リウマチ学 助教
村山 圭	順天堂大学 難治性疾患診断・治療学/ 小児科学 教授
森川 大智	順天堂大学医学部整形外科学講座 准教授
八木下 尚子	聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター
和田 裕雄	順天堂大学大学院 公衆衛生学 教授

2. 開催日

2026 年 3 月 7 日（土）10：00-17：20

3. 会場

〒104-0044 東京都中央区明石町 8-1

聖路加タワー7階 新日本科学 PPD 大会議室

定員：180 名

4. テーマ

大会長テーマ： ミトコンドリア病の最先端医療

学術委員テーマ： 骨・関節関連疾患

5. プログラム日程及び概要

予定時間帯	内容
10:00～12:20	10:00～10:10 開会のあいさつ（理事長／大会長） <u>テーマ：ミトコンドリア病の最先端医療</u> 10:10～11:10 基調講演（大会長又はご指名の先生）（講演 50 分＋質疑 10 分／演題） 11:20～12:20 スポンサー・セッション 1（S-1）2 演題（講演 25 分＋質疑 5 分／演題）
12:30～13:30	ランチョンセミナー 1～2 演題
13:45～17:20	<u>テーマ：ミトコンドリア病の最先端医療</u> 13:45～14:45 スポンサー・セッション 2（S-2）2 演題（講演 25 分＋質疑 5 分／演題） <u>テーマ：骨・関節関連疾患</u> 14:55～15:55 スポンサー・セッション 3（S-3）2 演題（講演 25 分＋質疑 5 分／演題） 16:10～17:10 スポンサー・セッション 4（S-4）2 演題（講演 25 分＋質疑 5 分／演題） 17:10～17:20 閉会のあいさつ（大会長／次期大会長）
17:30～18:00	一般財団法人難病治療開発機構 理事会
18:10～20:10	情報交換会

＊演題により若干変更になる可能性があります。

6. 協賛額一覧

協賛の種類	協賛内容	協賛額	募集数
スポンサー・セッション	スポンサー・セッション	500,000 円	4
	ランチョンセミナー	700,000 円	1
広告	抄録集広告	100,000 円	10
	ホームページバナー	50,000 円	10

7. 収支予算

収入の部		
項目	金額	備考
スポンサード・セッション	2,700,000 円	スポンサード・セッション、ランチョンセミナー
広告	500,000 円	抄録集広告、ホームページバナー
情報交換会参加費	450,000 円	10,000 円／人×45 名予定
合計	3,650,000 円	
支出の部		
事前準備費	2,000,000 円	プログラム抄録作成・ポスター作製等
当日運営費	1,200,000 円	演者交通費・謝礼金、機材費、運営諸経費等
情報交換会費	450,000 円	
合計	3,650,000 円	

8. 申込締切り

スポンサード・セッション申込締切：2025 年 10 月 31 日（金）

演題締切：2025 年 11 月 28 日（金）

講演要旨締切：2026 年 1 月 16 日（金）

広告申込締切：2025 年 11 月 28 日（金）

広告原稿締切：2026 年 1 月 16 日（金）

9. 運営事務局

第 3 回難病シンポジウム 運営事務局

c/o 一般財団法人 難病治療開発機構 事務局宛（担当：長屋 秀幸）

〒104-0044 東京都中央区明石町 8-1 聖路加タワー36 階 新日本科学内

TEL：03-5565-5001 FAX：03-3545-9300 E-mail：JMRF@SNBL.COM

＜広告募集要項＞

1. 広告媒体名

- ① 第3回難病シンポジウム抄録集
- ② 一般財団法人難病治療開発機構ホームページバナー
([一般財団法人難病治療開発機構](#))

2. 抄録集の配布方法

SDGs の観点から印刷物を配布せず、PDF を配布

3. 広告サイズ

- ① 抄録集： A4 サイズ（カラー）
- ② HP バナー： 450 px × 150 px（横×縦）^{*1}

^{*1} 貴社のコーポレート・ロゴバナーの表示サイズに規定がございましたらご提示下さい。

4. 掲載料金

- ① 抄録集： 100,000 円（1 口）
- ② HP バナー： 50,000 円（1 バナー）

5. データ入稿方法

- ① 抄録集： PDF データをメールにて入稿
- ② HP バナー： 画像データをメールにて入稿

6. 抄録集発行予定日

2026 年 1 月下旬

7. HP バナー掲載期間

ご入金後、2026 年 3 月末日まで

8. お申し込み方法

別紙の申込用紙に必要事項をご記入の上、E-mail または FAX にてお申し込みください。

9. 広告費用お振込先

三井住友銀行 日比谷支店 普通 8708529

名義：一般財団法人 難病治療開発機構

(イツパンザイダンハウジン ナンビョウチリヨウカイハツキコウ)

10. 申込締切日

2025 年 11 月 28 日 (金)

＜スポンサード・セッション募集要項＞

第3回難病シンポジウムは、スポンサード・セッションの共催事業計画として開催されます。何卒、本共催計画をご理解ご賛同の上、共催に参画賜りますようお願い申し上げます。

1. スポンサー・セッションについて

協賛企業と一般財団法人難病治療開発機構との共催とさせていただきます。

2. スポンサー・セッション

共催内容	テーマ	共催金	募集数
スポンサード・セッション 1, 2 (大会長セッション)	ミトコンドリア病の最先端医療	500,000 円	2 社
スポンサード・セッション 3, 4 (学術委員セッション)	骨・関節関連疾患	500,000 円	2 社
ランチョンセミナー	ー (100 座席)	700,000 円	1 社

3. セミナーテーマ、司会、演者選定について

原則として、協賛企業及び当財団と協議の上決定させていただきます。テーマや司会および演者の人選を事務局で調整させて頂く場合がございますので、内諾前に運営事務局までお知らせ下さい。場合によっては、変更をお願いすることがありますので予めご了承ください。

4. 企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインについて

- I. 日本製薬工業協会策定の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「貴社と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会協賛金に関する「学会名」とその「金額」を貴社のウェブサイト上に公開することに同意いたします。
- II. 日本医療機器産業連合会策定の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「貴社と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会協賛金に関する「学会名」とその「金額」を貴社のウェブサイト上に公開することに同意いたします。

5. 共催費に含まれるもの（本財団で準備するもの）

- I. 会場費
- II. 会場付帯機材費（スクリーン、プロジェクター、マイク等の財団手配の機材）
- III. 会場付帯設備費（机、椅子、演者台、音響、照明、空調、清掃など）

IV. スライド用 PC、Wi-Fi

V. 登壇者用控室及びお水（ペットボトル）／机名札

VI. 施設・会場内および控室前の表示看板

VII. 技術・進行要員（財団手配機材のオペレーター、受付など）

6. 共催費に含まれないもの

以下については、共催会社様でご準備頂けますと幸いです。

I. 座長／講師への謝金、旅費、宿泊費等（貴社規定によりご準備ください）

共催を得られなかった演題については、財団がお支払い致します

II. 運営費用（上記財団手配以外の追加機材や人員を手配される場合）

III. 共催者の会社広告用ポスター・チラシ印刷物を作成される場合の費用

IV. ランチョンセミナーにおけるお弁当／飲み物

7. お申し込み方法

別紙の申込用紙に必要事項をご記入の上、E-mail または FAX にてお申し込みください。

8. 共催費用お振込先

三井住友銀行 日比谷支店 普通 8708529

名義：一般財団法人難病治療開発機構

（イツパンザイダンホウジン ナンビョウチリョウカイハツキコウ）

9. 申込締切日

2025 年 10 月 31 日（金）

第 3 回 難病シンポジウム 広告申込書

申込締切：2025 年 11 月 28 日（金）

申込日	年 月 日	
貴社名		
ご担当者所属		
ご担当者名		
ご連絡先	〒	
	TEL :	FAX :
	E-mail :	

項目		単価	数量	小計
広告	プログラム抄録集	100,000 円		
	HP バナーリンク	50,000 円		
合計				

※お申し込み後、当財団より御請求書をお送り致しますので、指定期日までにお振込みくださいますようお願い申し上げます。なお、振込手数料は貴社にてご負担頂けますようお願い申し上げます。

本ご協賛のお申込み、お問合せは、下記担当者までお願いいたします。

【ご連絡・お問合せ先】

難病シンポジウム 運営事務局

c/o 一般財団法人 難病治療開発機構 事務局宛（担当：長屋 秀幸）

〒104-0044 東京都中央区明石町 8-1 聖路加タワー36 階 新日本科学内

TEL：03-5565-5001 FAX：03-3545-9300 E-mail：JMRF@SNBL.COM

第 3 回 難病シンポジウム スポンサー・セッション申込書

申込締切：2025 年 10 月 31 日（金）

申込日	年 月 日		
貴社名			
ご担当者所属			
ご担当者名			
ご連絡先	〒		
	TEL :	FAX :	
	E-mail :		

項目		単価	数量	小計
共催	大会長セッション（S-1、S-2）	500,000 円		
	学術委員セッション（S-3、S-4）	500,000 円		
	ランチョンセミナー	700,000 円		
合計				

※各セッションの講師・演題につきましては、各共催法人様とご相談の上、決定させていただきますので、お早目のお申し込みを頂ければと存じます。

※お申し込み後、当財団より御請求書をお送り致しますので、指定期日までにお振込みくださいますようお願い申し上げます。なお、振込手数料は貴社にてご負担頂けますようお願い申し上げます。

本ご協賛のお申込み、お問合せは、下記担当者までお願いします。

【ご連絡・お問合せ先】

難病シンポジウム 運営事務局

c/o 一般財団法人 難病治療開発機構 事務局宛（担当：長屋 秀幸）

〒104-0044 東京都中央区明石町 8-1 聖路加タワー36 階 新日本科学内

TEL：03-5565-5001 FAX：03-3545-9300 E-mail：JMRF@SNBL.COM